



①18日は雨もようでしたが、予定通り池めぐりコースのハイキングに行くことにしました。

②夏も運転している前山リフトに乗り、一気に上へ。ホテルで貰ったリフトのサービス券で安い料金となりました。ここはマイナスイオンがこのコースで断トツに高い6400個/m³。とか



③小雨の降る中を出発しました。

④「雨の中よく来たね」とアズマシヤクナゲ？それともハクサンシヤクナゲがお出向かい。



⑤リフトを降りて歩く事数分で渋池に着きました。

⑥そこではワタスゲの綿が雨に濡れて固まっていました。ワタスゲにも雨は嫌なのでしょうね。



⑦渋池の浮島。浮島は本当に水に浮いていて、風に吹かれて動くそうです。



⑧渋池を過ぎると林の中の道を進みました。



⑨苔が雨に濡れて生き生きとしていました。



⑩ミヤマカラマツ？

雨に花が濡れて一つ一つが個性ある形をしています。



⑪そして四十八池に着きました。
ワタスゲが一輪と白い花は？



⑫あづま屋で休憩していると、小学生の団が賑やかにやってきました。



①あづま屋での休憩を終えて、さあ出発。
雨も止みました。



②マルバタケブキの蕾だそうです。
花が咲くとこのようになるようです



③？



④ホソバノキソチドリ（細葉木曾千鳥）？



⑤白い花を付けているのはユキザサのようです。
シダの新芽でしょうか、細くヒョロリと出ています。



⑥葵の御紋のような葉の形です。
エイレンソウの蕾でしょうか？



⑦コバノイチヤクソウでなく、ズダヤクシュだそうです。
喘息の薬になることから（喘息薬種）



⑧ヤマブキシヨウマでしょうか。



⑨コメツガの林の中を進みます。
大木が倒れていますが道をふさいでいないで助かります。
次の世代に引き継がれることでしょう。



⑩オオレイジンソウと右に写っている葉っぱと青い実は
サンカヨウだそうです。（高木さん撮影）



⑪葉の形からするとミヤマニガイチゴでしょうか。
食べてみたら苦かったのかもしれない。



⑫花の拡大。



①大沼が見えてきました。なんと青い色です。



②大木に絡みついているのはツルアジサイのようです。
白い花びら(ガク片)が1枚でなく、イワガラミではありません



③



④オオバノツバムグラ(大葉の四葉葎)
またはオククルマムグラでしょうか。



⑤花の拡大



⑥サンカヨウ
花が咲くとこのように→



⑦大沼池の前で、出発前に



⑧レストハウスがあり助かりました。
雨に濡れずに弁当を広げられました。



⑨ホテルに準備して頂いた弁当の豪華な事。
普通なら、おにぎり2個とタクアン位なのですが...。
食べきれずに残して、帰りの車内で食べた人も。



⑩何かを見つけました。



⑪ギンリョウソウです。
しかし、何とも奇妙な花ですね。



①大沼の青い水の色が爽やかな事。
福島県の裏磐梯にある五色沼の色と同じです。



②?



③?



④花の拡大



⑤オオバミヅホオズキ?



⑥ウマノアシガタ?



2014/07/18

⑦岸辺の木々とそれが鏡のように澄んだ水面に映った姿は
東山魁夷の絵を思い出します。



2014/07/18

⑧ベニバナイチヤクソウ。
なんと可憐な花でしょうか。



2014/07/18

⑨皆さん大自然の中において本来の姿を取り戻して生き生きとし、とっても素晴らしい笑顔ですよ。



①四十八池を過ぎてであったミヤマニガイチゴ?と同じです。



②?。



③マタタビ。



④。



⑤平坦な林道で、歩くのには助かります。



⑥曲がり竹。雪の重みに耐えて生きて行く生命力の強さ。



⑦岩の周りにへばりついて根を張る木の生命力のなんとすごい事でしょうか。



⑧池めぐりコースの出口。



⑨出口から少し行ったところに清水公園が。



⑩その名の通り、冷たく美味しい水でした。



⑪志賀高原に別れを告げて、一路横浜に。ぶどう畑やリンゴ畑が広がっていました。



⑫小高い山の中腹にハウスが点在していました。斜面にあるということは、ワイン用の葡萄の栽培でしょうか